

溶接で活路を拓いた訓練生

ポリテクセンター兵庫 テクニカルメタルワーク科 頃末 寛

この18年3月に、テクニカルメタルワーク科を修了した訓練生から頻繁にメールが来る。その相談内容の多くは溶接施工に直面する問題解決を求める技能・技術的な事柄が多い。われわれの仕事は訓練生が修了してから本当の意味で頼りにされるのかもしれない。この職業をやってよかったなと思う瞬間でもあり、指導員冥利に尽きるとはこのことであろうか。

さて、思い起こせば、42歳の彼がポリテクセンター兵庫で一心不乱に溶接技能を習得して、希望する会社に就職できたのは彼の運と努力であったのかもしれない。この訓練生との出会いはH17年10月入所生職業訓練説明会の会場で、40歳過ぎと思われる作業服姿の男がテクニカルメタルワーク科の案内板を見つけて近づいてきたときだった。あいさつもそこに開口一番「働きたいなド素人でも半年でもものになるとね!？」の、北九州弁が印象的だった。私も、この職業能力開発の仕事で離・転職者や在職者を20年近く担当しているが、このような単刀直入な言い方をする人は初めてで、随分型破りな男だとの印象が強かった。そんな唯一つの質問に、彼の並々ならぬ溶接への決意を感じて、私は自分の気持ちを落ち着かせながら「本人への動機づけと、後は頑張りでそれは可能です」と答えたものの、その前にこのTPOの欠落した男がポリテクセンター兵庫に入所できるか、または入所できても他の訓練生との共同作業や就職指導は困難を極めることも頭をよぎった。それでも幸いなことに、そんながさつな面を持つ一方で、何となく憎めない雰囲気を持っていることに

少し安心した。

さて、実習場に彼を案内しながらテクニカルメタルワーク科への応募動機をプライバシーに触れない程度に聞いてみると、彼の方から溶接に賭ける心情が堰を切ったように、自分のおかれた窮状とそこから脱却して再起に賭ける思いを次のように述べた。

「長年、鳶工として建設現場で働き請負親方でしたが、職人を束ねて彼らを喰わずには精神力と年齢的な限界を感じて明石海峡大橋建造を機に廃業し、各飯場を渡り歩いて雑用のような仕事をしてきた。建築現場では資格のない者は工事量が減少すれば、即リストラに遭い、自分には技能と呼べるものが全くないことに気が付いた。よく今までハタハリと度胸で生きてこられたものだが、これからどう生計を立てていこうか悩んでいる。子どもは2歳とまだ幼く、家内は働いているが自分は一家の主としてパラサイト的な暮らしは我慢できない。男には家族を支える務めがあり、家族3人が食えればそれでいいのだが、それでも雑役仕事では将来に希望がなく、人生にもう一花咲かせるためにはどうしても溶接をマスターして、己の腕一本でささやかでも自信を持って人生の後半を切り拓きたい」と言う。なるほど、私はポリテクで多くの訓練生に接してきたけれど、此処まで赤裸々な思いを吐露した受講希望者も珍しく、何とか半年間でもものになるように指導するにはどうしたらよいのかと、私の頭の中はすでにそのための青写真を描き始めていた。

さて、溶接工の就職先は高度経済成長期の重厚長大産業時代には工事量も多く、製造現場は分業方式

を採用し、それが効率的な生産方式でもあった。したがって組立工と溶接工とは独立した職種であったが、今日のように社会経済の変動で工事が少なくなれば一職種のみに拘っては居られなくなる。それでも「俺は溶接だけする！」と言った頑固な溶接工もいるのがこの世界の面白さだが、溶接しかしない自信の裏付けには検査物の溶接は一発で欠陥なくできなければ通用はしないのである。そして、このような腕に伴う単価の良い仕事はそうざらにはなく、仕事にあぶれないよう常にアンテナを張って、効率よく立ち回らなければ、「野丁場」仕事は割が合わなく、それ故に彼らは「旅がらす溶接工」とも呼ばれた。そのような働き方が悪いとはいわないが、家庭を持っている人があえてその不安定な就労をするには危険が多く、それでも「サラリーマン溶接工」に収まらないタイプの人も存在するので否定はできない。そのような腕一本の世界に魅力を感じるのは、彼の長い現場暮らしが、会社組織の中で黙々と働くことに逡巡していたのだろうか。私はそのような物差しで彼を観察しながら就職希望を聞くと、「出張仕事は子どもが小さいからダメ、土日は保育所が預かってくれないから働けない、溶接だけをしたい」と臆面もなく言う。「そんな会社あるか！」と怒鳴りつけて、私はあきれ返ってしまった。それでも彼は諦

めきれないのか、そこに至るための資格取得に高い金を工面して果敢に挑戦した。私がものの例えに「運転免許を取ってもすぐにはタクシー運転手には成れないように、ポリテクセンターで資格ばかり取っても会社は一応の評価はするが、新入りなので下積みの辛抱も要る」と説いた。それでも彼は「資格がないと、その入り口にもいけない」と切り返してくる。さらに「俺は自分の踏み外した道を軌道修正し、何とか這い上がって関西でも五本の指に入る溶接工になって、その生き様の痕跡を大きくなったときの息子に示したい。その一点です」と語る彼に、この男の家庭の複雑さが少しわかったような気がして、努力すれば拾う神もあると思い、私は彼に対して開き直った。一方で、このように溶接馬鹿一本槍かと思えば、半年の訓練期間中にポリテクセンターを題材としたエッセイが3回も新聞社に採用されるという実績もあり、私たちが随分驚かせたものだった。

やがて、修了間際になって彼に指名求人がきた。内容的にも80%は彼向きであり、私はここ以外にはないと強く就職指導をした。彼は持ち前のハツタリと、資格を全面に出し運良く採用された。大変な訓練生を抱えた6ヵ月間だったが、心は軽ろやかだった。

職業訓練用教科書 改定発行のご案内

職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター編／厚生労働省認定



■ **NC工作概論**
ISBN4-87563-065-4

B 5 判・112ページ／定価 1,050円

■ **NC工作機械 [1] NC旋盤**
ISBN4-87563-066-2

B 5 判・162ページ／定価 1,785円

■ **NC工作機械 [2] マシニングセンタ**
ISBN4-87563-067-0

B 5 判・146ページ／定価 1,680円

(定価は税込価格です)

■発行所

社団法人 雇用問題研究会 <http://www.koyoerc.or.jp>

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-14 電話 03-3523-5181 (代表) FAX 03-3523-5187